

【第3号様式】おきなわSDGs認証制度 継続認証 主要評価項目（アクションプランに基づく活動計画書）


初回申請から更新した箇所は黄色セル

1. 団体情報

企業・団体名	株式会社沖縄海邦銀行
--------	------------

2. 申請内容

(1) 2030年のあるべき姿（ビジョン） ※記載必須

2030年のあるべき姿（ビジョン）		2030年のあるべき姿の実現へ向けて取り組むゴール ※SDGsの17のゴールから選択し、アイコンを入れてください。
※SDGsの目標である2030年までに、「(2)今後2年間で特に注力する活動・取組」の実施によって、貴社/団体が目指す未来を記載ください。 (貴社/団体が目指したい社会、目標の達成に向けて貴社/団体が考える課題、それに対して貴社/団体ができる取組の方向性など)		
沖縄海邦銀行は、経営理念である「地域密着」「健全経営」「人材育成」のもと、SDGs（持続可能な開発目標）の趣旨に賛同し、「みどりの銀行」として環境保全に継続的に取り組み、地域金融機関の役割・特性を活かして地域経済の持続的な成長と、地域社会の活性化に貢献することで、持続可能な社会の実現に努めてまいります。 実現に向け以下の3項目を重点的に取り組みます。 (1)自然環境の保全 (2)地域経済の発展、持続的な成長 (3)地域社会の活性化		

(2) 今後2年間で特に注力する活動・取組 ※最低3個（経済・社会・環境）は記載必須

No.	今後特に注力する活動・取組		おきなわ SDGsアクションプランとの関係性			関連するステークホルダー	補足事項・留意点等	貴団体におけるKPI（進捗管理指標）				
	概要	分類 ※任意の箇所は、プルダウンから分類を選択ください。	優先課題	SDGs推進の目標	関連するSDGsターゲット	※連携・協力するステークホルダーがいる場合に記入する。	※補足事項等があれば記入する。	管理する指標	現状値 (2025年度)	目標値 (2027年)		
1	みどりの運動（緑化推進活動）の展開	環境	必須	優先課題⑦	⑦-1	美しく豊かな自然が保全され、生物多様性の維持を実現する。	15.1 15.4 15.5	沖縄県緑化推進委員会	緑化推進イベントの一例 ①「みどりの講演会」 2024年度 年間参加人数 1,485人 ②かいぎん平和の森育樹祭、他緑化イベント 2024年度 参加人数 139人	緑化推進イベント 年間参加人数 (延べ人数)	2,500人 (前回目標+500人)	
2	金融経済教育の推進、金融リテラシーの醸成	経済	必須	優先課題④	④-2	観光との連携・相乗効果なども活用し、県内企業の稼働力を強化することで、域内経済循環の拡大や県民所得の向上を実現する。	4.4 4.7 4.a 8.10 12.8	沖縄県銀行協会 沖縄県教育委員会	金融教育アプリを活用し、若年層の金融リテラシー醸成を図る。	アプリ累計ダウンロード数	9,500件 (現状値+1,529件) (前回目標+2,200件)	
3	役員員による地域貢献活動を実践する態勢の強化	社会	必須	優先課題⑩	⑩-1	県民一人ひとりが地域活動に積極的に参画するローカルパートナーシップが充実した社会を実現する。	11.4 14.1 15.4 17.17	海邦総研	—	地域貢献活動 年間参加人数 (延べ人数)	2,000人 (前回目標+400人)	
上記の取組に加えて、今後特に注力する取組があれば、記載ください。（分類を「経済・社会・環境・ガバナンス・地域課題への貢献・国際課題への貢献」から自由に選択ください）												
4	気候関連財務情報の開示	ガバナンス	任意	優先課題⑥	⑥-2	2050年度カーボンニュートラルの実現に向け、本県の地域特性に合わせたグリーンエネルギーの導入拡大や省エネ施策・対策の推進、二酸化炭素吸収源対策等が進み、気候に強い県民生活の形成と社会に向けた積極的貢献を実現する。	7.a 17.16	—	—	サステナビリティレポートまたは統合報告書による開示	当行ホームページにてTCFD開示に関する情報を開示 (2024年12月)	サステナビリティレポートまたは統合報告書による開示
5			任意									

(3) 各活動・取組に関する詳細 ※記載必須

各活動・取組に関する詳細		各活動・取組に関する詳細
※各取組内容を詳細に記載ください。なお、取組については現時点の達成度に限らず、将来的な展望や今後目指す展開についても必ず記入してください。		
取組1	取組の詳細	緑化推進に関する啓発、実践活動を展開する。（みどりの運動）
	取組において、現時点で実施／決定していること	1974年より「みどりの運動」として、緑化に関する講演会の開催、剪金活動、植樹・育樹活動を継続している。
	取組において、今後予定していること	これまでの取組を継続するとともに、より多くのステークホルダーが緑化活動に参加できるイベント等を企画する。
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	2025年度の参加者数を考慮し、目標人数を設定。 毎月の講演会に加えて、沖縄県の植樹祭・育樹祭への参加、営業店による緑化活動により参加人数の増加を目指す。
	取組を推進する体制	「みどりの運動」の更なる展開を含めたSDGs推進計画を策定し、組織的に取り組む。
取組2	取組の詳細	アプリ等を活用した金融経済教育の推進により、金融リテラシーの醸成およびSDGs理解の促進を図る。
	取組において、現時点で実施／決定していること	2016年に本格金融教育アプリ「カイズ・かいほー伝説」をリリース。2022年出題ジャンルに「SDGs」を追加してリニューアルを実施。
	取組において、今後予定していること	学生向けの金融経済教育の実施と併せた周知、普及を図ります。 また、当行が設立したかいぎんスマイル基金と連携し、貧困問題解決に取り組む団体個人や、その利用者に対しても金融リテラシー向上の手段として周知・普及を図っていきます。
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	授業やイベント等においてアプリを活用するなど、年間750件超の増加を目標に設定。 (iPhone、アンドロイドのアプリストア累計ダウンロード数)
	取組を推進する体制	各地域の学校で、学生向けに金融経済教育を実施。また、県内金融機関が一体となって学校の授業を実施する体制を2026年に構築する予定。 かいぎんスマイル基金と連携し、学生以外の世代もターゲットに普及を図る。
取組3	取組の詳細	役員員による地域貢献活動の実践を推進する。
	取組において、現時点で実施／決定していること	地域貢献活動について、当行HP、ディスクロージャー、行内報等で情報発信している。
	取組において、今後予定していること	各エリアにおいて、地域の活性化につながる活動を自主的に企画・実行することを求めている。（半期毎）
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	前年までの地域貢献活動の参加人数に、今後予定している取り組みも加味し、目標人数を設定。
	取組を推進する体制	地域貢献活動の好事例を行内外に発信することで、役員員が自発的に地域貢献活動へ参加する組織風土を醸成する。
取組4	取組の詳細	TCFD提言に基づく気候関連財務情報の開示を行う。
	取組において、現時点で実施／決定していること	TCFD提言に基づく気候関連財務情報の開示は実施した。（当行HP）
	取組において、今後予定していること	統合報告書やサステナビリティレポートの制作に向けて、他社・他行事例をもとに制作を検討する。
	KPIにする指標の設定理由、目標値の妥当性、指標の計測方法	前回取組時に達成できなかった、統合報告書やサステナビリティレポートの発刊を再度目標に設定する。
	取組を推進する体制	取締役会の関与を含めガバナンス体制を整備し、組織的に取り組む。